



日本酒の醸造技術で「バラの化粧水」を開発

日本酒を製造する過程で得られる米発酵エキス(美肌づくりに効果的なアミノ酸やペプチドを含む)にバラの香りをプラスした「バラの化粧水」を開発。ほかにも「バラのお酒」なども開発している。

業況等の動向について

本業の動向について

日本酒醸造業。「天領誉」の醸造元で中野市を代表する老舗である。

業況としては、東日本大震災直後の売り上げは大きく落ち込んだため、やや厳しいが、その後は持ち直し 2010 年並みの業績は確保出来そうである。

異業種参入事業の概要

日本酒に含まれる、美肌づくりに効果的なアミノ酸やペプチドに、バラの香りをプラスした化粧水の製造を開始している。

事業運営については、当初の計画通り、化粧品会社のような広告宣伝を大きくすることなく、人から人へ静かに浸透していくイメージで展開を図っている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

長野県中野市ではバラ祭りを毎年開催しており、2004 年にはバラサミットが開催された。その際、中野市をバラの街として売り出していく事が決定し、バラと日本酒のコラボ商品を作りたいと考えたのが始まりである。その後、化粧品を製造する企業を紹介していただき、具体的な商品化に向けて動き出した。

マーケティングについて

中野市内において、試作品を使ったモニタリングを半年程度行い生の声を拾い集めた。

参入して最も成果のあがったこと

日本酒と無縁だった方々に社名を知っていただき、お客様の底辺が広がったことである。

参入して最も困難だったこと

日本酒を販売するお客様と全く違った層に向けて、扱ったことのないものを提案する方法や、営業活動などには大変な苦労を伴った。

参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

活用したのは、日本酒の醸造技術のみである。日本酒を醸造する過程で得られる米発酵エキスを化粧水に利用した。

天然成分のみで製品を完成させる昔ながらの技術。

今後の展望・見通し

ひとりでも多くの方に「バラの化粧水」も「バラのお酒」も手にしていただきたいとの思いを抱きながら事業を展開している。しかし、日本酒を手作りしているため、その過程で得られる米発酵エキス量にも限りがある。そのため「バラの化粧水」も「バラのお酒」も大量生産は出来ず、生産された物は、完売御礼の状態が理想的だと考えている。今後も手作りで日本酒を製造する限り、この状態は変わることはない。

メリット・デメリット

メリットとしては、今まで接することのない業界の方々と接する機会ができ、大変勉強になることである。新たな業界の方々、またその方々と繋がりのある方への宣伝効果もある。そうした中から新たな商品開発の話なども頂戴でき、商品の売り上げに貢献することも十分考えられることである。

大きな設備投資を伴ったものではないので、特にデメリットを感じることはない。

異業種参入時のアドバイス

日頃から人との繋がりを大切に、謙虚に新しいことを学ぶ姿勢を持ち続けることが重要だと考える。

行政の支援について

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

お酒のメーカーとしては、市として行う祭りや催事などの集客を、公共交通機関とのタイアップで行ってもらえると有難い。

会社概要

設立:1880年

資本金:1,000万円

従業員数:7名

URL: <http://www.tenryohomare.co.jp>